

毛髪の再生医療および細胞外小胞を用いた脱毛症治療

分野・用途

再生医療分野、男性型脱毛症の治療

研究概要

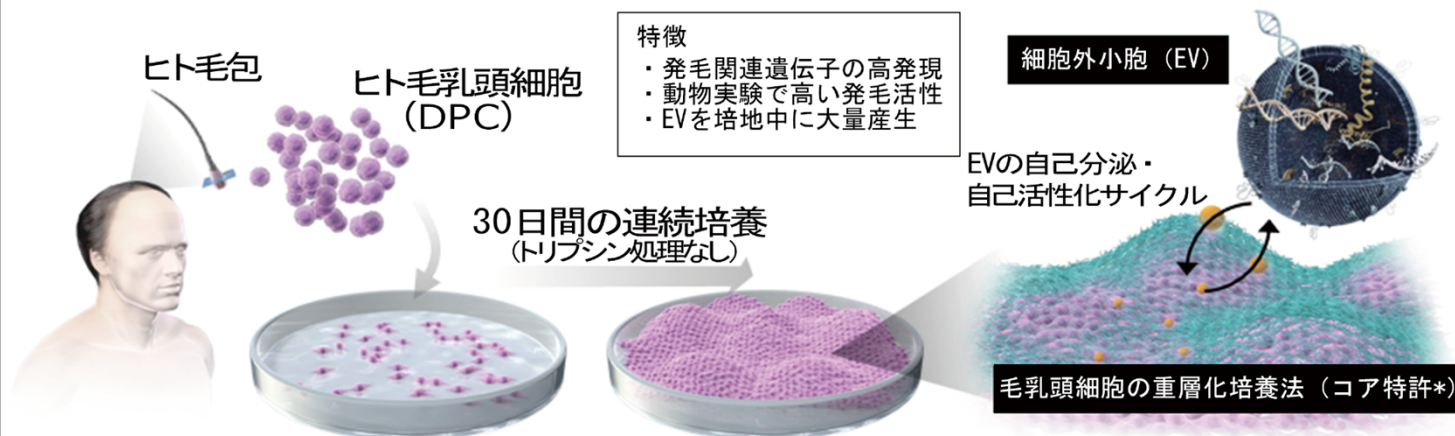
脱毛症の大部分を占める**男性型脱毛症 (AGA)**は、これまでに様々な薬剤や治療法が開発され、クリニックなどで治療が実施されているが、効果が不十分であり、新たな**効果的な治療法が強く望まれています**。

そこで我々は、再生医療のアプローチによりAGAに対する**根本的な脱毛症治療技術の構築**を目指しています。具体的には、独自の培養法を開発して**ヒト毛乳頭細胞の発毛活性を維持しながら増殖**させることを可能としました。このようにして得たヒト毛乳頭細胞を移植する再生医療は、すでに事業化企業と契約を締結し、特定認定再生医療等委員会へ臨床試験(第2種)の承認申請を進めています。また当該培養法でヒト毛乳頭細胞から産生される**細胞外小胞が機能維持のメカニズムであることを明らかにし**、これを用いたAGAの治療についても研究開発に取り組んでいます。



プロジェクトリーダー
福田 淳二
(横浜国立大学)

ヒト毛乳頭細胞および産生される細胞外小胞を用いた毛髪再生



研究者からのメッセージ

横浜国立大学で発見した技術をベースに、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC) プロジェクトとして、実用化を目指しています。ヒト毛包を使用した研究など、企業からの共同研究も受け付けていますので、お気軽にご連絡ください。

関連する知的財産権: 特許第7380998、PCT/JP2023/6551 「増幅毛包間葉系細胞の製造方法及びその使用」
他19件出願済

研究者: 横浜国立大学 工学研究院／先端科学高等研究院 教授 福田淳二

連絡先: 研究推進機構 産学官連携推進部門

(電話) 045-339-4447 (E-mail) sangaku.sangaku@ynu.ac.jp

Copyright © YOKOHAMA National University All right reserved